

「ひとりの夢が世界を変える」

～何によっても揺るがなかったパウロの確信～

「しかし、こうした中にあっても私たちは、いのちを投げ出してまで私たちを愛してくださったキリストによって、圧倒的な罪からの勝利を得るのです。神の愛から私たちを引き離すことができるものは何一つない、と確信しています。死もいのちも、そんなことはできません。天使にもできません。地獄の全勢力が結集しても、神の愛から私たちを遠ざけることはできません。恐れも、不安も同様です。あるいは、私たちが空高くのぼっても、海の底深くもぐっても、どこにしようと、神の愛から私たちを引き離すことはできません。」 ローマ人への手紙8章37～39節 [リビングバイブル]

ユダヤ人たちの中に常識として植え付けられていた神への信仰の中で、「死後の裁き」ということがありました。その裁きは、罪の結果による裁きです。そのために、どんなものよりも、「罪からの救い」ということほど大きな恵みはありませんでした。その罪から解放されるために、数え切れない律法を守るように幼い頃から教えられました。

私たち日本人にはそのような前提がないので、パウロの確信の大きさ、感動がそのままダイレクトに伝わって来ないのかもしれませんが。神に対する恐れは私たち日本人には中々理解できない世界。だからこそ、確信に満ちた信仰を持つのが難しいのかもしれません。

しかし、パウロは主の導きと信じて、当時の異邦人の代表とも言べきローマに対してダイレクトにイエス様への信仰を伝えていきました。そして、次々と異邦人が救われていき、最終的には、ローマ帝国自身が、また、その後のヨーロッパ、アメリカ、全世界へと福音が伝えられていきました。これは驚くべき神の奇跡といえると思います。

一人の人に与えられた神様からの使命がやがては時代を越えて、全世界の人々の考え方、生き方を変えていきました。そのパウロを用いてくださった主は、今も生きて私たち一人一人に働いておられます。私たち一人一人は小さな、欠けだらけの存在ですが、その私たちと共に生きて働いておられるのです。何よりも主は私たちを愛して、私たち自身を変えようとなさっておられます。この世の価値観ではなく、聖書の価値観、イエス様の価値観、聖霊様の価値観で生きるように導かれます。ですから、時には私たちの考え方や価値観とぶつかってしまうこともあります。そんなときには、私たちは主の御声に耳を傾け、その主権に従うように軌道修正しなければなりません。日々悔い改め、軌道修正させていただいて、主を感謝し、主を賛美し続ける人生を歩み続けていきたいと願います。

本日夕方5時から東京カルバリーチャペルの献堂式が行われます。村上宣道先生のメッセージ。そして、西田美栄子先生が特別賛美のご奉仕をなさいます。祈りましょう！そして、新しいことに挑戦される大川先生ご夫妻のためにお祈りしていきましょう！